

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月1日(水) 10:00～11:40
- 3 開催場所 可茂特別支援学校体育館
- 4 参加者  
会長 板津 幹彦 NPO法人プラス・ワン理事  
副会長 生田 靖子 可児市子ども発達支援センターくれよん所長  
委員 三好 正司 元公立学校教頭  
蔵澄 寿磨子 御嵩町あゆみ館施設長  
片桐 久美 牧野区長  
伊藤 佳苗 PTA会長

学校側	高井 繁喜	校長
	村橋 弘	事務部長
	河合 浩司	教頭
	村橋 昌則	教頭
	佐藤 洋子	小学部主事
	古田 康子	中学部主事
	八束 功子	高等部主事
	本田 知子	教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 教育の概要について

学校 : 令和4年度学校概要及び教育方針、学校運営機構等(資料)にて説明

意見1 : 本校と同じように企業でも外国籍の従業員が増えている。日本で生活していくためにも早い段階から日本語教育に力を入れてほしい。

意見2 : 高等部が新校舎に移動後は、旧校舎の空いた教室はどうなるのか。

⇒現在、教室が不足しているため、一時的に特別教室をHR教室に転用している。  
空いた教室を活用して、必要な特別教室に戻す整備を行う。

意見3 : 教員業務支援員はどのような業務に従事しているか。

⇒給食に関する支援や児童生徒下校後の消毒作業に従事している。教職員の負担軽減に大きな役割を果たしている。

#### (2) 作業製品の価格設定について

学校 : 令和4年度高等部作業製品価格一覧表にて提案

意見1 : いつ頃販売されるか。

⇒現在はコロナ禍でもあるので、学校祭及び校内の販売を検討している。

意見2 : SNSや美濃加茂市のふるさと産品等にあげられると販路拡大するのではないかと。

⇒作業学習の範囲内で作るものなので、需要と供給の問題等はあるが、工夫次第で実現可能である。様々な情報を教えてほしい。

意見3：老人会等、人が集まる場所で販売したらどうか。

意見4：販路拡大にPTAも協力を得たい。

⇒販路拡大に向け協力を仰ぎたい。

### (3) 学校と地域の連携について

学校：学校と地域の連携について依頼

意見1：裏山の遊歩道を整備している。休憩所も整備されているので利用したらどうか。

意見2：コロナの感染状況が落ち着けば、地元の方々と交流できるのではないかと。作業製品、特に野菜などは、近くに無人販売所があるので利用したらどうか。

意見3：PTAもコロナ禍で何もできない状況である。制限はあるが、工夫しながら各種行事に取り組んでいきたい。ぜひ子どもたち非日常的な経験をさせてあげたい。

意見4：協力できる企業、団体、お店等があれば提案したい。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・令和4年度作業製品の価格について、全委員より承認が得られた。

### <今後の課題>

- ・児童生徒の安全安心を第一に、新型コロナウイルス感染症予防に配慮したうえで工夫をこらし、授業や学校行事を最大限実施する。
- ・学校が何をしているのかが見えないという意見も得た。学校ホームページ等を活用して情報発信に努めるとともに、本校の取組を知っていただくために地域との交流の機会を増やす。
- ・校舎増築、高等部の専門科目実施に向けて、教員の専門性を高める方策を検討する。
- ・今後の運営協議会は事前に資料等を提供し、活発な意見交換ができるよう配慮する。